

RURAL TOURISM

地方地域観光調査レポート



国内旅行による日本の地方活性化



日本における地方地域観光の成長

Airbnbが日本人旅行者を対象とした調査¹によると、過去1年間に行われたレジャー旅行のうち**96%**が国内を目的地としていました。旅行者の関心は大都市や有名な観光地にとどまらず、**85%**が「知られざる地域」への旅行に関心を持ち、その地域での**郷土料理の調理体験(54%)**、**歴史的建造物の見学(43.8%)**、**伝統文化の体験(38.9%)**などより深く、**地域の生活に入り込んだ体験**へと広がっています。

また、Airbnbのデータによると、日本の地方地域への旅行は目覚ましい成長を遂げています。2023年と比較して2024年、**地方地域の宿泊施設の予約数は約25%増加**しました²。この傾向は、日本のAirbnb利用者における明確な嗜好の変化を反映しており、流通総額(GBV)に占める非都市部の割合は、2019年の**4%から6%**³へと上昇しています。

国内旅行者が成長を牽引

この動きを牽引しているのは国内旅行者です。2024年の地方地域での予約の**3分の1**が日本人によるもので、2025年第1四半期には**国内宿泊日数が前年比24%以上増加**⁴しました。この勢いは第2四半期も加速しており、日本国内を再発見したいという旅行者の強い意欲がうかがえます。

若い世代が好奇心で地方を旅する

Airbnbが行った調査によると、Z世代やミレニアル世代を含む若い世代の日本人旅行者の**51%**がパンデミック以降、国内旅行を好むようになったと回答しています。彼らの好奇心に牽引され、日本の地方再生は減速の兆しをまだ見せていません。今後12ヶ月間に国内旅行を計画・検討している回答者も**39%**に上り、この需要に応えるため、Airbnbの地方地域におけるリスティング(宿泊施設)は2024年第1四半期と2025年第1四半期の比較で**26.2%増加**しています。

96%が過去1年間で国内を目的地としたレジャー旅行を実施

85%の日本人旅行者が「知られざる地域」への旅行に関心を持っている

51%のZ世代やミレニアル世代を含む若い世代の日本人旅行者がパンデミック以降、国内旅行を好むようになったと回答

39%の日本人旅行者が今後12ヶ月間に国内旅行を計画・検討していると回答

2024年第1四半期と2025年第1四半期の比較で
Airbnbの地方リスティング数

26.2%増加

2024年から2025年の
国内宿泊日数

20%増加

¹ 以降注釈のないデータは、2025年9月に全国の18歳から40歳までの日本人旅行者1,034名を対象にマクロミルがオンラインで実施した調査結果に基づく

² 日本国内のAirbnbユーザーにより2023年および2024年に予約された宿泊予約数の比較に基づく

³ 2025年9月発表の**オックスフォードレポート**にも基づく

⁴ 日本国内のAirbnbユーザーにより2025年1月~3月に予約された国内宿泊予約の前年同月比に基づく

若い世代が牽引する地方地域観光



日本の国内地方地域への観光は、新世代の旅行者によって推進されています。好奇心、価値志向、そして地域文化とのより深い繋がりによって、若い日本人旅行者が地方地域観光の隆盛を後押ししています。



文化の活性化と地域に深く根ざしたリアルな体験

国内観光の成長を牽引する重要な原動力として、文化の活性化、リアルな体験、そして地域社会とのつながりが台頭しています。国内の目的地を選ぶ動機には、コストや利便性に加え、「日本をより深く探索したい」という思いや「地域社会を支援したい」という意識が見られます。

コストと利便性

59.3%がコスト面、
57.4%が移動時間短縮などの
利便性を国内観光の動機に
挙げています

日本への探究心

25.3%が日本をより深く
探索したいという欲求を
国内観光の動機に挙げています

地域社会の支援

5%が地域社会の支援を
国内観光の動機に挙げています

あまり知られていない日本国内の地域を訪れる際、旅行者は郷土料理や食文化、伝統芸術や工芸品などの体験に強く惹かれています。これは、旅行者が単に観光地を巡るだけでなく、その土地ならではの文化や歴史に深く触れたいと願っていることの表れです。



54%

郷土料理の調理体験や食文化体験



43.8%

歴史的建造物や遺跡の見学



38.9%

伝統文化の体験

2024年に初めてAirbnbでゲストを迎えた新たな地方地域



北海道古平町



新潟県田上町



福岡県添田市



秋田県三種町



茨城県東海村



長崎県長与町



高知県本山町

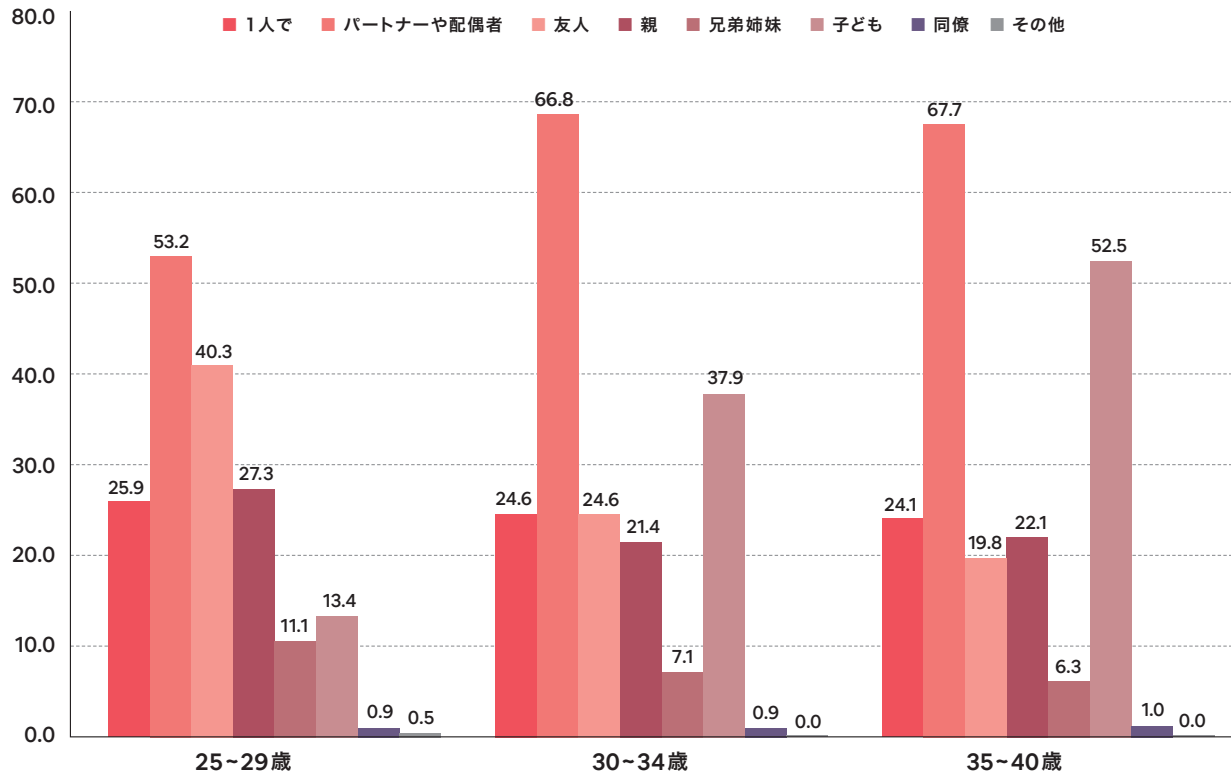
グループ旅行が切り拓く観光の未来



日本の地方地域観光ブームにおいて、個人旅行に加え、**グループでの旅行**が重要な特徴として台頭しています。Airbnbのデータによると、**2025年第1四半期には3人以上のグループによる宿泊日数が前年比で23%増加**しました。

国内旅行の同行者について尋ねたところ、多くの年代で友人や家族との**グループ旅行**が上位を占める結果となっています。このデータは、ライフステージの変化に合わせて同行者は変わるものの、友人や家族、パートナーなどの「**グループ旅行**」が**旅の中心**にあることを示しています。

日本の旅行者の同伴構成（年代別）



日本の地方地域へのグループ旅行は、単に一緒に過ごすことだけではありません。そこには、旅の快適さを追求する実理的な理由も伴っています。大都市を離れて旅をする際、旅行者がパッケージレンタル(Airbnbなど)を好むのは、次の理由からです。

自宅のようにくつろげる

26.7%が旅行先であっても、宿泊先には自宅のようにくつろげるリラックス空間を求めています

広いスペース

14.3%がグループでの滞在に適した広々とした空間を求めています

静けさ

23.7%が都会の喧騒から離れた静かな環境での滞在を求めています

多くの旅行者にとって、滞在は単なる宿泊施設にとどまらず、その土地のコミュニティに触れ「**地元の人のように暮らす**」ための機会となります。地域社会に深く入り込み、隠れた名所や文化を発見することは、旅行の価値を消費するだけにとどまらず、地域経済への貢献へと広がります。



経済的な影響: 地方地域社会の支援

地方地域旅行の増加は、**地域経済に具体的な利益をもたらしています**。地方地域におけるAirbnbホストの平均収入は増加し続けており、その地域で生活する家族や中小企業に新たな収入源を生み出しています。また、国内観光は、文化遺産を守り、職人や伝統産業を支え、人口減

少や、継続的な経済活動を課題とする地域に新たな活気をもたらしています。Airbnb Japanは、これまで地方自治体や団体などの様々な連携協定を通じて、地方地域の再生を加速させ、**観光を地域活性化の原動力として強化することに貢献**しています。

収入創出

地方の宿泊施設利用は、ホストに新たな収入源を提供し、家族経営の事業や中小企業の活性化に貢献しています

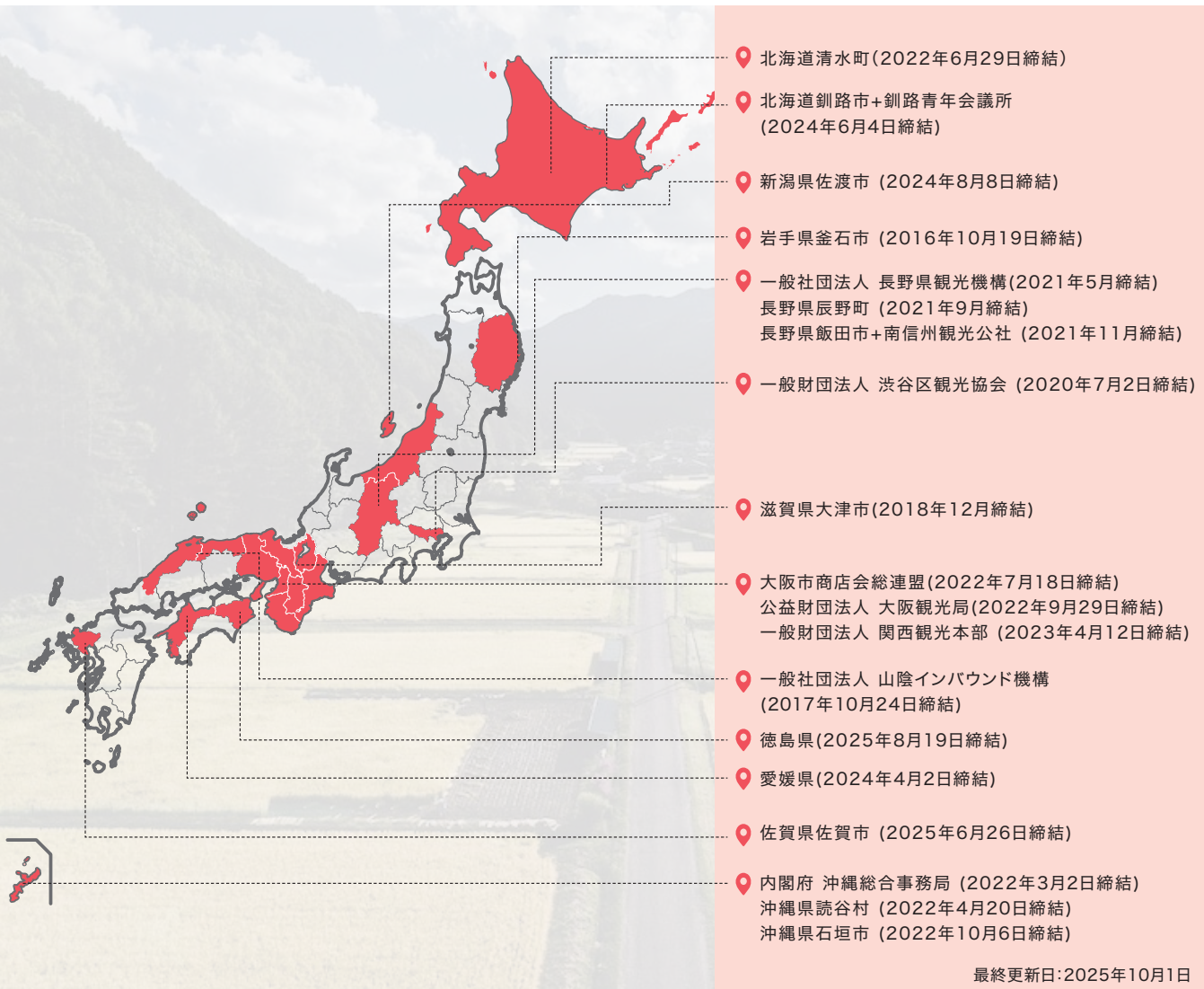
文化保護

文化遺産の維持、伝統工芸や産業の支援、そして人口減少に悩む地域社会への新たな活力注入に不可欠な役割を果たしています

地域活性化

自治体やDMO*等との覚書を通じて、Airbnbは地方再生を加速させ、観光を地域活性化の原動力として強化することに貢献してきました

* 観光地域づくり法人「Destination Management/Marketing Organization」の略称



日本の国内における地方地域旅行の活性化は一時的なトレンドではなく、旅行者が新たな場所を探し、訪れ、人と人が繋がり、地域に貢献する方法における永続的な変化を反映しています。若い旅行者が先頭に立ち、**国内外における文化体験や地域社会との繋がりに対する需要が高まり、グループ旅行が増加することで、地方地域における経済貢献への動きは今後数年間でさらに深化していく**と考えています。

